

平成16年2月秋田市議会定例会代表質問者順序

秋 水 会 赤 坂 光 一

市 民 ク ラ ブ 渡 辺 良 雄

社 会 ・ 市 民 連 合 新 岡 雅

フ ォ ー ラ ム 2 1 塚 田 勇

共 産 党 加 賀 屋 千 鶴 子

公 明 党 成 沢 淳 子

1 市長の政治姿勢について

(1) 選挙公約の進捗状況について

ア 選挙公約における主要事項の進捗状況と自己評価、さらに今後対応する事項の主な方向性について

イ (仮称)市民公聴条例の現時点における概要と主旨、さらに今後のスケジュールについて

(2) 16年度予算編成に関する基本方針等について

ア 16年度予算編成の基本方針及び今後二、三年の財政見通しについて

(3) 16年度の各部局における新規主要事業とそのためのスクラップ事業及び重点化事業について

(4) (仮称)分権推進プロジェクトチーム及び(仮称)市民協働推進プロジェクトチームについて

ア それぞれのプロジェクトチームの具体的な内容はどのようなになっているのか

(5) 公共事業の今後のあり方について

ア 国の公共事業の基本方針を受け、本市の公共事業はどのように変化すると見通しているのか、また、対応策についてどのように考えているのか

(6) (仮称)芸術文化ホールについて

2 市町合併について

(1) 各地域での説明会で、どのような意見や質問が出されているのか、また、それらを踏まえた、これまでの市町合併協議の総括と今後のスケジュールについて

(2) 合併特例債の活用に関する基本方針と計画している主な事業及び計画額について

(3) 市町合併後の人事について

- ア 河辺町及び雄和町職員の人事の基本方針はどうか
- イ 両町職員の研修計画はどうか
- ウ 現時点における職員削減見込みの内訳はどうか、また、どのようにして削減する考えなのか

(4) 市町合併後の財政運営について

- ア 16年度の両町予算編成への本市の関与の仕方はどうか
- イ 市町合併後における財政運営に関する基本方針はどうか

(5) 市町合併後のまちづくりについて

- ア 市町合併後の両町地域のまちづくりの基本方針はどうか

3 行政改革について

(1) 本市の行政改革の目指すものと重点事項は何か、また、これまでに主にどのような実績が上がっているのか

(2) 公共施設の民間管理委託について

- ア 最新時点における自主財源に占める人件費の比率について
- イ 高浜市のような会社設立による一括業務委託の検討について
- ウ 個別委託のアウトソーシングによる施設運営の効率化について

(3) 公社改革について

- ア 現時点における公社に対する基本的な考え方について
- イ 全公社を一たん廃止し、改めて会社の設立による一括業務受託組織が必要不可欠と考えるがどうか

4 経済対策について

(1) 雇用対策について

- ア 緊急雇用創出特別基金事業を活用した本市の雇用対策事業の実績と効果について
- イ 緊急雇用創出特別基金事業は17年度以降も継続実施すべきと考えるが、基本見解はどうか

- (2) 産学官連携体制に対する基本見解と具体的施策の方向性はどうか
- (3) P F I の導入に向け、具体的な対象事例を基に国の補助制度を活用して調査を実施すべきと思うかどうか
- (4) コミュニティビジネスへの市民参入を支援すべく、基本方針を策定し支援策を検討すべきと思うかどうか
- (5) 「秋田経営塾」支援事業について
 - ア 「秋田経営塾」の具体的な内容はどのようなものか
 - イ 市としてどのような支援策を考えているのか

5 教育委員会制度について

- (1) 教育委員会制度について
 - ア 現行の制度についてどのように考えているのか、また、文部科学省の制度見直し議論についてどのようにとらえているのか
- (2) 県費負担教職員制度について
 - ア 県費負担教職員の任命権、給与負担権及び学級編制基準の設定権の中核市への一括移譲に関して、どのように認識しているのか

6 新屋地区の諸問題について

- (1) 新屋支所と西部公民館の合築整備について
 - ア 整備に向けたスケジュールと設置場所はどうなっているのか、特に、設置場所についての地元の意見集約は、どのようなタイミングで行うのか
- (2) 日新小学校の増築について、校舎増築の施設概要と実施スケジュールはどうなっているのか

1 市長の政治姿勢について

(1) 自衛隊のイラク派遣に対する見解について

(2) 市長就任後３回目の予算編成を終えた感想と市政運営における新年度に向けた決意について

(3) 政策決定に向けた庁内体制について

ア 構造改革特区構想と地域再生指針への対応について

イ 部局間の調整を要する事業を政策決定するまでの庁内体制について

ウ 市民の足の確保を前提として民間バス事業者を含めた交通政策をどのように進めていくのか

2 建都400年記念事業及びまちづくりについて

(1) これまで行われたプレイベントの事業結果の検証から、本番の事業への市民参加の見込みも含め事業の盛り上がりへの手応えをどう感じているのか、また、そのためのPR活動はどのように行っていくのか

(2) 佐竹史料館の改築については、現在の場所にこだわることなく歴史資料館として、または千秋美術館との合築も視野に中央街区へ、さらに、秋田杉を使用すべきなどの声が聞かれるが、どのように進めていくのか

(3) 千秋公園と連動する日赤・婦人会館跡地の再開発事業の見通しはどうか、また、その際必要となる県有地の利用調整をどう考えているのか

(4) 記念事業の一環として千秋公園に佐竹義宣公の銅像建設を望む声があるが、その考えはないのか

(5) これまでの実行委員会が行ってきた議論・提言は、今後のまちづくりに関連した貴重なものとするが、事業終了後の実行委員会をどのように考え、議論・提言を市政運営にどう生かしていくのか

3 市町合併について

- (1) 編入される河辺町、雄和町においては、合併協議が進むにつれて負担に見合うまちづくりへの不安の声が報道され、また、住民意思の反映をめぐり住民による学習会が開かれるなど、トーンダウンともとれる動きが見られるが、住民説明会での反応も含めて合併への住民の合意形成づくりの見通しはどうか
- (2) 合併後も本市が目指すコンパクトシティの形成に努めるとしているが、合併後は農地・山林等の割合が多い2町の面積が加わり、市域が約2倍に拡大することから、コンパクトシティの構想にはなじまず、変更する必要があると考えるがどうか、また、合併協議会では、合併後の都市計画については当面現行どおりとしているが、都市計画の平準化についてどのように考えていくのか
- (3) 合併による財政効果として、約300億円の合併特例債の活用のほか、交付税措置や国・県からの補助金等で約43億円の歳入を見込んでいるが、建設計画での特例債以外の市債だけでも約200億円が予定されていることに加え、国の財政事情と現在の市債残高を考えると身の丈にあった計画が求められると思うが、合併後の財政見通しについてどのように考えているのか
- (4) 昨年11月の地方制度調査会の答申において提言している地域自治組織、または地域審議会について、合併後の対応策としてどのように考えているのか
- (5) 合併により失職する2町の特別職の処遇については、新市市長にゆだねられているが、現在における考え方はどうか
- (6) 昭和の大合併時の反省として公文書の引き継ぎ、管理が挙げられており、その取り扱いは慎重であるべきと考えるが、このたびの合併に伴う公文書の引き継ぎ、管理についての考え方はどうか

4 財政問題について

- (1) 三位一体改革を進めるに当たり、国は地方の自立や分権型社会形成に向けて、早期に地方財政規模等の方向を示す必要があるが、全国市長会の考え方を含めて国の動向や改革による見直しをどのようにとらえているのか
- (2) 積み戻しも含めて15年度決算時における本市基金の状況と今後の見通しはどうか
- (3) 市債償還の見通しについてどのように分析しているのか

5 生涯学習の推進について

- (1) 本市生涯学習の推進体制と展望について
- (2) 生涯学習を支援する講師派遣について
- (3) 公民館について
 - ア 第3次行政改革大綱で示した時代にマッチした公民館機能についての検討は、どのように進められているのか、また、今後の見通しはどうか
 - イ 地域センターやコミュニティセンターを活用した一体的な活動はできないか
 - ウ 土崎公民館等改築が要望されているところがあるが、シビックセンター構想を含めた今後の施設計画をどのように考えているのか
- (4) 国の青少年育成施策大綱をどう受けとめ、本市青少年施策推進とどのように連動させていくのか

6 環境問題について

- (1) 地球温暖化に対する認識と今後の取り組みについて
- (2) 本市の大気、河川環境及び化学物質汚染に対する認識と今後の取り組みについて
- (3) 環境問題に対する新たな取り組みについて
 - ア 秋田市環境基本計画の進捗状況と数値目標の達成状況については、どのようになっているのか、また、市民の理解と協力を得ていくた

めにも広くわかりやすい形で公表していくべきと考えるがどうか
イ どのような理由で「ISO14001」を取得するのか、また、
取得後はどのように事業展開する予定であるのか

(4) ごみ問題について

ア 本市の不法投棄の現状はどうなっているのか、また、それに対する
対策はどのように進められているのか

イ ごみ収集業務の民間委託実施に向けた準備はどうなっているのか、
また、実施の見通しはどのようになっているのか

ウ ごみ減量化としての環境貯金箱制度の具体的内容はどのようなもの
のか

エ 野焼き等の農業現場における副産物の焼却処分について、どのよ
うな見解を持っているのか

オ 第2リサイクルプラザ（仮称）施設整備事業について、施設の概
要、メーカーの選定及び契約方法についてはどのようになっている
のか

7 中央卸売市場について

(1) 現在取り組んでいる活性化対策について

(2) 卸売市場法改正への対応について

(3) 改正消費税法による場内仲卸業者への影響及び対応について

(4) 今後の施設整備計画について

8 農業問題について

(1) 秋田市水田農業ビジョンについて

ア ビジョンの中で位置づけている担い手は、本市が育成してきた多
様な担い手も含まれた内容となっているのか

イ 耕作放棄地解消対策として、JA・行政が主体となり農地公社の
組織の立ち上げを考えられないか

ウ 土地改良区の組織統合は、あるべき地域農業の推進とどのように

結びつくのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) イラク戦争と自衛隊派遣と憲法論議について
- (2) 国を変える地方分権と全国市長会への提言について

2 景気と雇用政策について

- (1) 競争至上主義経済から人間回復の経済・税制政策への転換について
- (2) 本市と2町の合併効果と雇用政策について

3 福祉問題について

- (1) 介護保険施設に関する権限を地方自治体へ移譲することについて
- (2) I V H（静脈内高カロリー輸液療法）の介護保険上の位置づけについて

4 感染症問題について

- (1) S A R Sの感染源と侵入の防止策について
- (2) 鳥インフルエンザの対策について
- (3) H I V患者の増加への対応と予防策について

5 農業問題について

- (1) 2004年国際コメ年と日本農業の中の本市の課題について
- (2) 「改正食糧法」施行の問題点について

6 中通一丁目地区市街地再開発事業の促進について

- (1) （仮称）芸術文化ホール構想と再開発事業の見通しについて
- (2) 「森の広場・パークロード」を基本理念とする諸施設の配備計画について

7 上下水道工事の諸手続及び完成検査体制等の問題について

- (1) 給水装置の申し込み（平成13年5月16日受理）と排水設備の申し込み（平成13年5月30日受理）文書の扱いと問題点について
- (2) 工事ミスによる施工業者の責任と当局の完成検査体制と職務規律の問題点について
- (3) 同施工業者に対する建設工事入札参加者資格審査要綱第10条の適用について

8 新屋コミュニティーの再生計画にかかわる諸問題について

- (1) （仮称）新雄物新橋の架橋計画と都市計画道路新屋十軒町線の一部廃止の早期実現について
- (2) 新屋支所と西部公民館の合築計画について
- (3) 新屋コミュニティセンターと西部体育館の合築計画について
- (4) 小学校の新配置と建設計画について
- (5) 新屋比内町市営住宅の建替計画について

9 坂道のロードヒーティングの行政評価と新規計画の早期実施について

1 市長の政治姿勢について

(1) イラクへの自衛隊派遣について

ア イラクへの自衛隊派遣に対して市長はどのような見解を持っているのか

イ 市民の代表として、即時、イラクからの自衛隊の撤収を国に働きかけるべきと考えるかどうか

2 市町合併について

(1) 本市における意見交換会や地域・地区説明会に参加した代表者や市民の合併に対する思いはどうであったのか、また、合併に対する意見や要望の特徴的なものは何か

(2) 新市の建設計画の関連について

ア 合併特例債の活用は、極力抑制すべきであり、その使途については明確にすべきと考えるかどうか

イ 両町の旧役場庁舎等を、出先機関として十分な市民サービスが提供できるよう、特段に充実・強化を図るべきと考えるかどうか

ウ 新市の庁舎、各支所、地域センター等の役割分担と将来に向けての統廃合の見通しを建設計画で明確にすべきと考えるかどうか

エ 新庁舎は、出先機関等におけるサービス機能等の拡充を図ることを踏まえれば、防災拠点としての機能を備えつつ、過大な施設とならぬよう、コンパクトでスリムな建設が可能と考えるかどうか

オ 建設計画は、これまでの本市の方針を基本に調整すべきであり、両町の事業についてもこの視点に立って整合性を図るべきと考えるかどうか

カ 建設計画の主要事業については、両町の事業をそのまま実施した場合、本市との逆格差を生じる可能性があり、新市の均衡ある発展のため、本市の事業との整合性を図る必要があると考えるかどうか

キ 新市の一体感を醸成する意味からも、職員の人事交流を速やかに図るべきと考えるがどうか、また、職員削減計画についても建設計画に明示すべきと考えるがどうか

(3) 当面の間、地域審議会は必要であり、その機能・役割を果たせるようあり方を検討する必要があると考えるがどうか

(4) 雄和町育英会について

ア 雄和町育英会が運営する学生寮等は、今後、県もしくは大学側に施設及び運営を移行すべきと考えるが、市長の決意はどうか

3 行政における情報通信システム等の整備について

(1) 落雷発生時等における通信手段の確保について

ア 落雷時や故障に対する通信設備の保守体制と復旧体制はどのようなになっているのか

(2) 行政情報ネットワークについて

ア 市町合併に伴う1市2町の行政情報ネットワーク構築の考え方について

イ ネットワークの拡大により、情報漏えいのリスクの高まりが危惧されるが、ハード・ソフト両面においてセキュリティ体制は万全であるのか

(3) 除排雪指令システムについて

ア 現システムは平成8年度に導入されたものであるが、当時に比べ住民ニーズは多様化・複雑化しており、さらに、今後の市町合併による広域化に現指令システムで十分な対応ができるのか

4 都市内地域分権システムについて

(1) 現段階での導入の基本的な考え方と概要について

(2) 都市内地域分権における行政の取り組みは、それぞれの市民サービスセンター及び出先機関へある程度の権限・財源を移譲する「ミニ市役所」的なものであり、そのことによって地域に適した施策が展開可

能になると思うかどうか

5 未利用市有地の有効活用について

- (1) 本市において活用されていない市有地はどの程度あるのか
- (2) 工業団地に関する県の新たな取り組みを参考に、県との連携を含め市民還元、地域還元を積極的に推進すべきと考えるかどうか

6 電子入札システムの導入について

- (1) 本システムの導入前と導入後の落札率について
 - ア 現段階における本市の落札率について
 - イ 導入後における落札率への影響をどの程度と予測しているのか
 - ウ 過度な落札率の低下は良質な工事の阻害となり、ひいてはそこに働く労働者への賃金不払いなどという懸念はないか
- (2) 1件当たりの入札参加業者数はどの程度になると見込んでいるのか
- (3) 地元業者が疎外される懸念はないか
- (4) 導入スケジュールは事業者の立場に立って進める必要があると考えるかどうか

7 資源循環型社会の構築について

- (1) 資源リサイクルの推進について
 - ア 県が制定作業を進めている「秋田県リサイクル製品の認定及び利用の促進に関する条例」を本市としてどのように受けとめているのか
 - イ 資源循環型社会の構築に向け、今後、本市としてどのような施策を展開していくのか

8 交通政策について

- (1) バスの路線移管、公的費用負担、公共交通のあるべき姿、都市形態など総合的見地に立った取り組みが必要と考えるかどうか

- (2) 市町合併後の新たな都市形態、地域事情に対応した、新たな視点によるバス交通の検討が必要と考えるかどうか

9 国道7号の下浜バイパスの早期着工について

- (1) 国道7号の下浜バイパスの着工に向けた取り組みについて

1 市長の政治姿勢について

(1) 平和とイラク戦争について

ア 米英の引き起こしたイラク戦争の基本的な性格をどのように認識しているのか、また、この戦争に「大義」があったと思うのか

イ 米英の不法な占領を終結させ、国連を中心にしたイラクの人々の民族自決権を尊重した民主的選挙などによる、新しい国づくりに対する援助を国際社会に働きかけるべきと思うかどうか

ウ 有事関連7法案について、きっぱりと反対の意思を表明すべきと思うかどうか

(2) 市政を通じて明らかになった、市民の暮らしを悪化させ今後も決してよくはない「小泉構造改革」に対する期待や幻想を持つのはやめて、きっぱりと批判、反対の立場に立つべきと思うかどうか

2 平成16年度予算について

(1) 予算編成に当たり、市長の政治的な意思はどのように反映されたのか

(2) 市債償還の見通しについてどのように考えているのか、また、市債残高をいつ、どのくらいの規模まで縮小すれば適切と考えているのか

(3) 自主財源を確保し歳入の拡大を図るため、抜本的に地域産業の振興を図るとともに、あらゆる場面で地域内循環をたえず考慮して行うべきと思うかどうか

(4) 秋田中央道路などの建設を中止し、第三セクターなどへの新たな財政的支援はやめて、国保税値上げなど市民負担をふやす施策を撤回する予算の組みかえを行うべきと思うかどうか

3 子供たちに健全な成長を保障する社会について

- (1) 教育基本法の改悪は行わないよう国に申し入れるべきと思うかどうか
- (2) 教育基本法、子どもの権利条約などの精神を、広く市民に知らせる取り組みをすべきと思うかどうか
- (3) 不登校や保健室登校などの実態をきめ細かく調査し、養護教諭の加配などを検討すべきと思うかどうか
- (4) 少人数学級の拡大を国・県に要望すると同時に、市独自でも計画的に30人程度学級拡大の検討をすべきと思うかどうか
- (5) 子供の健全な育成を保障する環境をつくっていくために、周辺自治体と一緒にJR追分駅の夜間無人化を中止するよう申し入れすべきと思うかどうか

4 少子化対策、子育て支援について

- (1) 次世代育成支援対策推進法について
 - ア 行動計画の策定に当たり、広く市民から意見を聞くことや策定協議会には労働者の代表もメンバーに加えて行うべきと思うかどうか
 - イ 行動計画は全庁的な体制で推進すべきと思うかどうか
 - ウ 民間企業の「行動計画」に対し、国の指針で示している項目について盛り込むとともに達成状況を公表するよう指導すべきと思うかどうか
- (2) 公立保育所運営費の一般財源化によって、公立保育所の民間移行を進めることや保育サービスの低下につなげることがないようにすべきと思うかどうか
- (3) 公立保育所の給食で使用している飲用スキムミルクを、計画的に牛乳に切りかえる検討をすべきと思うかどうか

5 市町合併について

- (1) この合併で地域が一体性を持ち、地方自治を発展させていくことができると思うのか

(2) 合併ありきで進めるのではなく、地域産業を初め地域づくりをどうするのか、また、地域の自治、地域づくりにとって合併がいいのかどうか、議論の時間を保障すべきと思うがどうか

1 新年度予算編成等について

- (1) 16年度予算編成における新予算編成システム導入の成果をどのように認識しているのか、また、システムの問題点をどのようにとらえ、今後どのように対応していくのか
- (2) 厳しさを増す国の財政状況は、今後の本市財政計画にどのような影響を与えていると考えているのか

2 少子化対策について

- (1) (仮称)少子化問題対策室の設置について
- (2) 少子化に対応する具体的なプランについて
 - ア 「次世代育成支援行動計画」をさまざまな部局とのかかわりの中でより実効性の高いものとするため、松葉谷助役を本部長とした全庁体制をつくるべきではないか
 - イ 本市エンゼルプランと当該行動計画の位置づけはどのようなものか
- (3) 安心して産み育てやすい環境づくりについて
 - ア 少子化対策にかかわる職員への男女共生意識の啓発について
 - イ 私立幼稚園の預かり保育の拡充について県に積極的に要望すべきと思うかどうか
- (4) 地域における子育て支援の充実について
 - ア 地域子育て支援ネットワーク推進事業を拡充すべきと思うかどうか
 - イ パンダ広場の開催会場をふやすなど参加者の利便性に配慮すべきと思うかどうか
 - ウ 育児サークルへの育成支援体制はどのようなになっているのか

3 第3次秋田市行政改革大綱について

- (1) トップマネジメント機能の強化に対する検討内容と進捗状況について
- (2) 現庁舎における総合窓口設置の可能性と秋田拠点センターアルヴェにおける窓口対応について
- (3) 市県民税所得証明書等の様式見直しの経緯と見直し後の市民の反応、今後の方向性について
- (4) 水道事業と下水道事業の組織統合により見込まれるメリットは何か
- (5) 行政改革の達成項目と効果などを市民に積極的に公開すべきと思うかどうか

4 暮らしやすい社会をつくるバリアフリー化について

- (1) 秋田市交通バリアフリー基本構想の策定状況及び特色について
- (2) 本市の「モノづくり」「まちづくり」を市民や企業と協働して推進するため、行政としてどうリーダーシップをとっていくのか

5 学校等の安心・安全対策について

- (1) 子供の安全対策について
 - ア 児童生徒全員に防犯ブザーの貸与はできないのか、また、教職員の危機管理意識を高める防犯訓練や研修、子供たちへの防犯教育はどのように行われているのか
 - イ すべての小学校に警備員を1名配置することとなっているが、具体的な内容はどのようなになっているのか
- (2) 児童センター・児童館の安全管理体制及び防犯システムはどのようなになっているのか

6 医療と保健体制について

(1) アレルギー疾患対策について

ア 医療情報等を住民に提供する体制をつくるべきと思うかどうか

(2) 食物アレルギーについて

ア 食物アレルギーを持つ児童生徒への学校給食での対応について

イ 学校栄養職員の未配置校における対応はどうなっているのか

(3) インフルエンザ対策について

ア 乳幼児へのインフルエンザ予防接種に対する公費助成について

(4) 女性の健康支援対策について

ア 市立秋田総合病院における女性外来の受診状況と課題、今後の方向性について

イ 乳がん検診におけるマンモグラフィーの導入について